

# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区靴屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

## ことばの葉だより

### ペン1本で富と名声を手に入れた作家 フランシス・ホジソン・バーネット編

『小公子』『小公女』『秘密の花園』…。これらの有名な児童文学の作者は、フランシス・ホジソン・バーネット。イギリスで生まれ、アメリカで活躍した人気女性作家です。

1849年、工業都市マンチェスターで中流階級の商家に生まれます。しかし彼女が3歳のとき父親が急死、一家は転落の一途をたどりました。母方の伯父を頼りアメリカへ移住した後、貧しい生活を脱するため、報酬目的で雑誌社へ投稿。作品は認められ、以来売れっ子作家となります。フランシスが18歳のときでした。

2度結婚しましたが、どちらも幸せな結婚生活ではなかったようです。ただ最初の夫との間に生まれた2人の息子のことは溺愛していました。しかし長男は病にかかり、16歳の若さで亡くなります。息子を失った悲しみは、生涯癒されることはありませんでした。唯一心を晴らすことができたのは、大好きな土いじりだったそうです。ニューヨーク州ロングアイランドに土地を購入し広々とした庭を作ったフランシスは、60歳のときこの地で『秘密の花園』を書き始めました。この作品は、彼女の存命中にはあまり注目されませんでした。死後、時代をこえて読み継がれる傑作となります。

教育らしい教育は受けずに育ち、あふれるばかりの想像力と創造力を次々と紙に記し、莫大な財産を築いたフランシス。今年、没後100年にあたります。イギリスとアメリカ両国で非常に人気があり、大人向けの小説を70冊あまり、子ども向けを4冊書きましたが、100年後の現在、子ども向けの本の作者としてのみ名前をのこすことになろうとは、彼女自身、思いもよらなかったことでしょう。

わたしは世の中にもっと楽しみと幸せをもたらしたいと願い、あらん限りの力をふり絞って書いてきたのです。

— 『秘密の花園の向こうへ』より —

#### フランシスさんに関連するクイズです。

- I. 生まれ故郷のマンチェスターでは、ある工業が大変盛んでした。それは何?
  - ① 毛織物 ② 綿織物 ③ 石炭 ④ 製紙
- II. 『秘密の花園』を書き始めたロングアイランドで、彼女が植えた672本の花とは?
  - ① バラ ② ユリ ③ アジサイ ④ サクラ
- III. 次男をモデルに書いた『小公子』。本とともに大西洋の両岸で大流行したという、主人公が着ていたスーツの素材は?
  - ① シルク ② コーデュロイ ③ ツイード ④ ビロード
- IV. フランシスと同世代ではない作家は?
  - ① ヨハンナ・シュピリ ② フィリパ・ピアス ③ ロバート・ルイス・ステイーヴンソン ④ マーク・トウェイン
- V. ロンドンとワシントンD.C.に豪邸をかまえ、ヨーロッパを外遊したフランシス。生涯に大西洋を渡った回数?
  - ① 13回 ② 23回 ③ 33回 ④ 43回

【こたえ】は左下にあるよ

#### 【参考文献】

『小説家フランシス・ホジソン・バーネット』川端有子/著(玉川大学出版部)、『秘密の花園の向こうへ』アン・スウェイト/著(国書刊行会)、『少女小説をジェンダーから読み返す』木村民子/著(亜紀書房)



「なんでも聞いてみよう!図書館のレファレンスサービス」  
福井県立図書館 司書 宮川陽子  
「石丸伸二の『覚悟の理論』を探しているんだけど」今朝、勤務している福井県立図書館のカウンターでお尋ねいただいたのですが、その題名の本がない!  
みなさんは図書館員に普段どのくらい声をかけますか?なんだか忙しそうだから、なんとなく恥ずかしいから、いろんな理由で声をかけたことはないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。  
実は、図書館の大事な仕事のひとつに「レファレンスサービス」があります。何か知

りたいとき、探したい本があるときには、ぜひ図書館員に聞いてみてください。図書館員が知りたいことが載っている本を紹介したり、探している本を探したりする、このサービスがレファレンスサービスなのです。  
とはいえ、どんなことを聞いていいのかわからないです。図書館員は、みなさんが知りたいことを、図書館の資料や、インターネットの情報などから、探し出すお手伝いをします。たとえばこれまでこんな質問をお受けしました。「墓じまいの仕方」「絵手紙の書き方」「ピーマンの佃煮の作り方」「読書感想文を書きやすい本」(この原稿は夏休み期間中に書いています)。最終的

に図書館の本をお渡しすることで解決出来る質問であれば、なんでもお受けすることが出来るのです。  
さて、冒頭の『覚悟の理論』。東京都知事選挙で話題になった人物の著作ということもあり、ピンときた方もいらっしゃるかもしれません。正しい書名は『覚悟の論理』でした。  
十月二十日、多可町図書館にお伺いします。図書館員がどのようにみなさんの質問にお答えしているのか、調べ物をするときのコツは?こういった内容についてお話しする予定です。『覚悟の論理』からどうやって『覚悟の論理』にたどり着いたのか。ご興味がいってきた方、ぜひ御参加ください。

#### ◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 10月 —							— 11月 —							— 12月 —						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

休館日

【こたえ】 I...② II...① III...④ IV...② V...③





『百年の孤独』



G・ガルシア＝マルケス/著  
新潮社 (963力)  
ジャンル：小説

『すうがくさんぽ』



前田まゆみ/著  
あすなろ書房 (410マ)  
ジャンル：実用書

『くつなおしの店』



アリスン・アトリー/著  
福音館書店 (K933ア)  
ジャンル：児童書

ホセ・アルカディオ・ブエンディアという男が、いとこのウルスラと結婚する際、血族結婚で生まれる子どもには豚のしっぽが生えるという先例やさらに1人の男をホセが殺してしまつたことから、2人で村を出て、新しい村マコンドを開拓することになったところから物語は始まります。マコンドにやってくるジプシーたちにそのなかで鍛錬金術に夢中になる父親、働きづめの中3人の子どもの育て、成長した子どもたちが、どんどんと一族の人数を増やしていきます。ブエンディア一族の100年の間には、同じ名前が登場するなど、登場人物表を何度も見返しながら根気強く読む必要がありますが、誰が誰か分からなくても面白い要素がたくさんあります。どの世代でも不可解な行動を取り続け、何度も同じ事を繰り返す息子たちや子どもを産み、家を守る女性たちの一族の盛衰から目が離せなくなりそうです。奇想天外なエピソードがてんこ盛りで表現も神秘的な部分がたくさんあり魅力たっぷりです。現在までに46の言語に翻訳され、5千万部発行されている世界的ベストセラー。日本でも最近文庫化され話題となつた1冊です。(よ)

数学といえば、方程式、関数、微分積分、確率、統計、図形など難しい内容が想起されます。しかし、数学という世界で紹介されている理論や数式の集まりを本当に理解する才能を持たなくても、数学をながめて感じ取れるものがあります。著者はそれを、さまざまなものの方の経験だといえます。たとえば、鉛筆の長い方と底の方、視点をかえてみると全く違うものに見える、といった具合にです。  
直線的な形の人工物に比べて、不規則で有機的に思える自然界にも、法則性がありそうです。雪の結晶が六角形、動物の顔や体は線対称、ひまわりやデイジーの花は点対称、というように、この世の森羅万象はじつは数や形の法則で成り立っているというのです。  
著者は数学の世界に、生死や感情にかかわる残酷さや生きるゆえに在る業ではなく、永遠の宇宙の真理あるいは自然の法則のような、どこまでも澄んだものを感じ取れると述べています。かわいらしいイラストに助けられながら、素直に自由に、さまざまなものの方を見方を発見する、「すうがくさんぽ」を楽しみましょう。(り)

小さな古い家や店が立ち並ぶ村の通りに、ニコラスじいさんの靴屋がありました。おじいさんは若いころブーツ作りの名人でしたが、町に新しい店ができて以来仕事が減り、靴を直してほそぼそと暮らしていました。  
ある日孫のジャックから、隣家の少女のために、軽くて柔らかい部屋靴を作つて欲しいと頼まれます。市で見つけた、バラのように赤いモロッコ革のきれはしで靴を作ると、ほんの少しだけ生地が余りました。おじいさんはそれを使い、人形用に小さな小さな靴を作り、店の窓にぶらさげておきました。人々はおじいさんの腕に感心しながらも、買わずに通り過ぎます。その夜、月の光を受けて明るく輝く小さな靴に、人間以外の生き物が集まってきました。その中には妖精もいて…  
表紙を眺め「どんな本だろう」と想像するのも、読書の楽しみの一つです。この本の表紙に載っている妖精たちは、まるでいたずらっ子のように。はたして彼らは、おじいさんとジャックに何をもちたらすのでしょうか。(あ)

ピフリンピック

7/20~8/31



夏休み期間に開催されたピフリンピック。参加者は台紙を手に、決められた冊数にチャレンジ。幼児部門70名、小学生部門224名、中学生部門29名の参加があり、達成者は幼児35名、小学生109名、中学生17名でした。

また、今年は、「図書館のふしぎをみつけよう」スタンプラリーも同時開催し、200人の参加がありました。豪華なシャンデリアや赤い絨毯を見つけるなど多可町図書館の不思議を発見し、最後にカウンターでガチャガチャに挑戦!! 新図書館の缶バッジをゲットしていました。



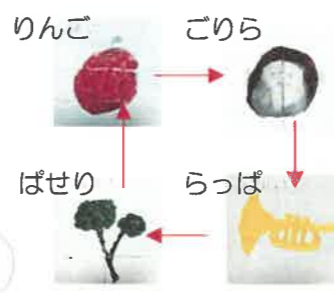
図書館 NEWS

手づくり絵本講座

8/18



夏の恒例行事「手づくり絵本講座」を開催しました。今年は、4つのしりとりで構成されたエンドレスしりとり絵本づくりに挑戦。手づくり絵本作家の村上祐喜さんの明快な指導のもと、しりとり絵本の制作方法やアイデアの具体的な手法を学ぶことが出来ました。子どもたちは、4つのしりとりを組み合わせること、しりとりに沿った絵を描くことなど、想像力を膨らませながら自分だけのオリジナル作品を仕上げていました。完成後は一人ずつ作品の発表会を行い、満足そうな表情を浮かべていました。



もたちは、4つのしりとりを組み合わせること、しりとりに沿った絵を描くことなど、想像力を膨らませながら自分だけのオリジナル作品を仕上げていました。完成後は一人ずつ作品の発表会を行い、満足そうな表情を浮かべていました。

みどりこども園来館

8/22

みどりこども園の4歳児、5歳児の子どもたちが午前と午後に分かれて来館してくれました。おはなし会では、静かにおはなしを聞いてくれていました。また、大型絵本にはとくに興味を持ってくれたようでした。おはなし会終了後は、児童コーナーでかりて帰る本を選び、1人1冊ずつ貸し出しを行いました。



お迎えのバスが来るぎりぎりまで本を選んでる子もいましたが、それぞれにお気に入りの本が見つかったようでした。

ストーリーテリング講座 9/5(全3回)



小栗栖真弓さんを講師にお迎えし講座を開催しました。第1回は「ストーリーテリングと子ども」という内容での講義でした。子どもは生命のこもった言葉を通しておはなしの中の出来事を体験します。

その体験を楽しむことによって人間の心をうけとり、自分自身の心をつくりあげていくのです。人間の営みへの無条件の信頼が育まれ、それが生きていく支えになる、そのような語り子どもたちに届けたいものです。



多可町図書館 秋のイベント情報

「読み聞かせ講座」  
と き：10月31日(木)  
10時~11時30分  
講 師：今西茂子氏  
定 員：20人(要申込)  
託児あり(要申込)  
締 切：10月24日(木)

「手あそびとわらべうた講座」  
と き：11月2日(土)  
10時~12時  
講 師：原 三恵子 氏  
定 員：20人(要申込)  
締 切：10月19日(土)

多可町図書館講演会  
「一生使い倒す！図書館の上手な使い方」  
と き 10月20日(日) 13時30分~  
講 師：宮川陽子氏(福井県立図書館職員)  
定 員：50人(要申込)  
内 容：日頃のレファレンス業務からうまれた覚え違いタイトル集『100万回死んだねこ』。この本が出来ると、出来てからの裏話。そして、レファレンスとは何かなどなど。図書館の便利な使い方を知っているだけでぜんぜんちがう。暮らしに役立つ図書館のおはなし。



多可郡中学生理科自由研究作品展  
期 間：10月10日(木)~24日(木)【10/15、16、21、22日は休館】  
10時~18時【最終日の24日は16時まで】